

東京都市大学 対話型講座「私たちが描く未来の環境都市」〈全6回〉

人口減少、高齢化や慢性的な財政課題など経済成長の必然的限界と、成長を追い続ける開発による自然破壊と生物多様性の危機は、これまでのフィジカルな都市計画論では解決できません。環境やコミュニティ、ライフスタイルから経済に至るまで統合的に議論し、「成長」ではなく、「成熟」した都市のありようを思索して衆知を結集することが、課題解決への道筋と曙光に繋がっています。暮らしを常に取り囲み我々に影響を与えていたる独特的な空間や季節感、「伝統」、「風土」、「文化」、「景観」という本質に立ち返り、日本にとって本当に必要な「まち」の姿を解き明かし、「幸せな社会を未来に受け渡す」ための論議を深めてまいりましょう。東京都市大学は学術と産業のコラボレーションで皆さんとともに「成熟」をキーワードとした社会像を、都市や地方に実現する「共創共生するまちづくり」を発信致します。

第1回テーマ 現在の「まち／都市」の課題



隈 研吾

建築家

PHOTO : PEY INADA

1954年横浜生。東京大学建築学科大学院修了。2001年～2008年、慶應義塾大学教授。2009年に東京大学教授に就任。また、RIBA国際会員、AIA(全米建築家協会)名誉会員も務めている。近年では、日本国内で、歌舞伎座(第五期・2013)、中央郵便局KITTE(2013)、小松精工Fab o(2015)などを発表。海外では、フランスに、リヨン・コンフリュアنس HIKARI(2015)、中国・杭州で中国美術学院杭州民芸博物館(2015)などを完成させている。進行中のプロジェクトでは、東京オリンピックに向けて建設される新国立競技場の設計にも携わっている。著書『建築家、走る』『僕の場所』など。

持続可能な目標となる社会の姿を想定し、
その姿から現在を振り返って今何をすればいいかを考える

化石燃料から太陽光や風力等の再生可能エネルギーへの転換は進んでいます。しかし、原発に全く依存せず生活の“質”を維持できる“まち”にするためには、都市緑化や太陽電池の高効率化、建築や都市のバシップデザイン、バイオクリマティックデザイン、クールルーフ化などの技術開発を進める一方で、人間側でもクールビズや打ち水、生理・心理・人的交流・自然との対話等、さらなる発想の転換をして「幸福度」を高め、「健康寿命」が伸びる“まち”を目指すことが必要です。第1回目は、現在の首都圏が直面している課題と、今後、国民の期待が集まる2020年の東京オリンピックを契機として次世代に遺す環境遺産の創造、生物の棲家となる「森」を都市に創出し生物多様性を守る方法、「人と人」「人と自然」が対話してしあわせを感じられる“まち”的なまちづくりの実現方法についての展望を、環境、建築、土木、ランドスケープ、都市計画の第一線で活躍の先生方に議論していただきます。

涌井史郎

東京都市大学 特別教授



森田俊作

大和リース株式会社 代表取締役社長



1955年生まれ。79年大阪経済大学経済学部卒業後、大和工商リース(現・大和リース)入社。規格建築事業部長、流通建築リース事業部長などを経て2008年4月に代表取締役社長に就任し、現在に至る。

① 氏名 ② 所属(会社名) ③ 住所 ④ 電話番号 ⑤ メールアドレス

を明記の上、5月20日(金)までに、下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

なお、必ず件名に「未来の環境都市公開講座申し込みについて」と記載の上、お申込み下さい。

メールアドレス: mirai-kouza@tcu.ac.jp



二子玉川 モキャンパス®

東京都世田谷区玉川二丁目21番1号 二子玉川ライズ・オフィス 8階

- ①「二子玉川駅」の改札を出て右へ進みます。
- ②二子玉川ライズオフィス1階のマクドナルドを目指し右斜め方向へ進みます。
- ③オフィス棟入口の右手にあるエレベーターで6階まで進みます。
- ④6階まで進み、エレベータホールを降りたら右斜め方向入口まで進み、そのまま直進します。
- ⑤直進したら、左手にある低層階用エレベーターに乗り換え、8階まで進みます。
- ⑥8階エレベータホールを降り、通路右奥が「モキャンパス」入口です。

■ お問い合わせ

東京都市大学「未来の環境都市」公開講座 実行委員会事務局

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

TEL: 045-910-2556(直通)

MAIL: mirai-kouza@tcu.ac.jp

超える、つながる、その夢に。

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY
SINCE 1929

